



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.198 2019 November

今月の記事

Top News

- 第2回学位取得者表彰式を開催
.....1

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

- 令和元年度10月期申請における試験日程について
.....3
- 273人に学士の学位を授与
.....4

機構の窓

- 会議の開催状況
.....5

主要行事日程

- Schedule (11月～1月)
.....6

TOP NEWS

○第2回学位取得者表彰式を開催

9月13日（金）に竹橋オフィスで、第2回学位取得者表彰式を開催しました。当機構では、学校教育法第104条の規定に基づき、我が国において大学以外で学位を授与する唯一の機関として、学位授与事業を実施しており、これまで8万4千人を超える人々に学位を授与しています。

学位取得者表彰は、学士の学位を取得した者のうち、生涯学習に努め、特に精励したと認められた者を対象とする表彰制度で、平成29年度に「機構長緑秀賞」（機構ロゴマークにも使用されている希望を意味する“緑”色と、生涯学習に“秀”でた者に対する賞であることに由来）として創設されました。

今年度は、平成30年度の学士の学位取得者から選考された3名に対し、福田機構長より表彰状と記念品が授与されました。その後、福田機構長より、「受賞者のこれまでの学修におけるご努力に深く敬意を表するとともに、学位を取得された方々の様々な分野での活躍を期待し、当機構としても優れた人材の育成が継続されるように精進を重ねたい」などの挨拶があり、続いて、受賞者から感謝と喜びの言葉が述べられました。

また、表彰式後に機構教職員との懇談会が行われ、受賞者より、学位取得のきっかけや、生涯学習に関する体験などについて和やかな応答がなされ、有意義で貴重な機会となりました。

なお、当機構では、年2回学位授与申請を受け付けており、申請方法や学位取得までの流れは、機構ウェブサイト（https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/shinseishiryoku.html）で公開しています。



受賞に際し挨拶の言葉を述べる菅原氏㊤、稲垣氏㊦、大西氏㊧



機構役員と記念撮影をする受賞者

○受賞者3名よりいただいたメッセージを紹介いたします。

菅原 眞由美 様 （基礎資格：第2区分 専攻分野の名称：保健衛生学）

短大卒業後、臨床検査技師として病院で長年勤務してきました。学位とは無縁と思っておりましたが、ある時、医学雑誌で放送大学および機構を利用することで保健衛生学の学士が取得できることを知り、臨床検査技師としての集大成として学士取得を目指すことにしました。放送大学で単位を積み上げ、自分の専門とする病理細胞診をテーマに成果レポートの作成を行いました。慣れない統計作業などもあり、完成までに年単位での時間を要し大変苦労しました。

学士を取得できただけでも満足でしたが、この度、機構長緑秀賞受賞の知らせを頂き喜びもひとしおです。つたないレポートを評価していただき感謝いたします。この貴重な経験を糧に今後もいろいろなことに挑戦し頑張っていきたいと思います。

学士を取得するには努力と時間が必要ですが、専門知識を深める事ができ、自身のスキルアップにもつながります。また将来に向けても様々な可能性が広がると考えます。学士取得に期限はありません。学士を持たず頑張っておられる多くの皆さんへ、更なる飛躍を目指し学位取得にチャレンジして下さい。

稲垣 智史 様 （基礎資格：第3区分 専攻分野の名称：文学）

この度、機構長緑秀賞を受賞できたことを光栄に思います。自分の学習を形にすることができただけでも嬉しいのに、さらにそれが機構から一定の評価をしていただけたということで、誇らしく思っています。

私は、大学を中途退学しましたが、自らの従事する業務について専門性を身に着けるため大学院への進学も選択肢として考えるようになったことから、学位の取得を目指すに至りました。

目標であった大学院への進学に向けて今後具体的に進めていきたいと思います。また、各分野でダイバーシティの重要性が唱えられている昨今、機構の制度を活用した学位取得は、高校→大学→社会人という単線的キャリアパスに対してひとつのオルタナティブを提示するものだと思っており、自分自身がひとつのロールモデルとなれるようキャリアに邁進するとともに、自らのキャリアを発信していきたいと考えています。

大西 節子 様 （基礎資格：第3区分 専攻分野の名称：芸術学）

今回このような素晴らしい賞を頂き本当に嬉しく思います。

私は大学の文学部を卒業して一般企業に就職しましたが、幼い頃からの夢である絵への思いを断ちがたく2年後に退職しました。その後はデザイン専門学校や美術研究所に通いながら独学で絵の勉強を続けて来ました。36歳から自宅での制作を開始したものの、その生活は社会との接点がほとんどなく、いわゆる引きこもり状態となりました。このままではいけないと50歳を機に思い切って芸術短期大学に入学し、卒業後は認定専攻科を経て、今回の学位取得となりました。

短期大学および認定専攻科で学ぶ日々は新鮮で刺激に満ち、たくさんの出会いがありました。体力的にはきつく大変でしたが得るものは大きかったと思います。今後は大学院への進学も視野に入れながら制作を続けていきたいと考えています。来春2回目の個展を地元の美術館で開催していただけることになったのですが、展覧会のタイトルを「夢見る頃を過ぎても」とさせていただきます。あのまま引きこもって制作を続けていたら今のような活動の広がりはなかったと思います。皆さんもぜひご自分の夢をあきらめずに実現させて下さい。

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

当機構では、短期大学や高等専門学校を卒業、あるいは専門学校を修了するなど、すでに高等教育機関において一定の学習を修めた者に対して、審査の上、学士の学位を授与しています。

当機構の「学士の学位」を取得するためには、上記学校を卒業または修了するなど一定の学習を修めた後、大学において科目等履修生制度を利用するなど必要な単位を修得し、「修得単位の審査」及び「学修成果・試験の審査」を受ける必要があります。両方の審査に合格すると、大学卒業者と同等以上の学力を有すると認められ、「学士の学位」が授与されます。

（※短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与（学士）について詳しく知りたい方は、[こちら](#)をご覧ください。）

学位授与申請は、毎年度2回（4月期と10月期）受け付けており、令和元年度10月期においては、622人の申請を受け付けました。令和元年度10月期は、12月8日（日）に面接試験を東京で実施し、12月15日（日）に小論文試験を東京、大阪の2地区で実施します。

○令和元年度10月期申請における試験日程について

1 試験日・試験場

試験の区分	試験場	試験日時
小論文試験 （学修成果として レポートを提出した者）	東京地区 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 小平本館 （東京都小平市学園西町1-29-1）	令和元年12月15日（日） 午前の部： 10時30分～12時00分 午後の部： 14時30分～16時00分
	大阪地区 大阪経済大学 E 館 （大阪府大阪市東淀川区大隅2丁目2番8号）	
面接試験 （専攻の区分「音楽」、「美術」、 「演劇」のいずれかでレポート 以外の学修成果を提出した者）	東京地区 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 小平本館 （東京都小平市学園西町1-29-1）	令和元年12月8日（日） 面接試験時間は受験票で ご確認ください。

2 受験票などの送付

受験票は、受験者心得とともに試験日の10日前までに送付しています。令和元年度10月期においては、11月15日（金）に発送しました。

[お問合せ先]

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構管理部学位審査課

〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1

電話：042-307-1550（問合せ専用）

受付時間：9:00～12:00 13:00～17:00（土・日曜、祝日、年末年始を除く。）

○ 273人に学士の学位を授与 ―平成31年度4月期申請分―

平成31年度4月期に学士の学位授与申請のあった短期大学、高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等315人のうち、273人に対し学士の学位を授与しました。

今回の学士の学位授与については、各専門委員会・部会で行われた修得単位の審査及び学修成果・試験の審査に基づき、令和元年8月30日（金）開催の学位審査会において審査が行われました。

〈平成31年度4月期学士の学位授与申請者数及び取得者数〉

（専攻の区分別）

専攻分野の名称	専 攻 の 区 分	申 請 者 数 （ 人 ）	取 得 者 数 （ 人 ）
文 学	国 語 国 文 学	2	0
	英 語 ・ 英 米 文 学	4	4
	哲 学	1	1
	心 理 学	2	2
教 育 学	教 育 学	13	11
社 会 学	社 会 学	1	1
教 養	比 較 文 化	1	1
	科 学 技 術 研 究	1	1
社 会 科 学	社 会 科 学	1	1
法 学	法 学	3	2
経 済 学	経 済 学	1	1
理 学	数 学 ・ 情 報 系	4	1
	物 理 学 ・ 地 学 系	2	1
	生 物 学 系	2	1
	総 合 理 学	1	0
薬 科 学	薬 科 学	1	1
看 護 学	看 護 学	191	182
保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	5	5
	臨 床 工 学	8	8
	放 射 線 技 術 科 学	9	6
	理 学 療 法 学	4	4
	作 業 療 法 学	2	2
	言 語 聴 覚 障 害 学	11	1
鍼 灸 学	鍼 灸 学	1	1
口 腔 保 健 学	口 腔 保 健 衛 生 学	1	1
	口 腔 保 健 技 工 学	1	1

専攻分野の名称	専 攻 の 区 分	申 請 者 数 （ 人 ）	取 得 者 数 （ 人 ）
柔 道 整 復 学	柔 道 整 復 学	2	2
栄 養 学	栄 養 学	11	6
工 学	機 械 工 学	3 [1]	2 [0]
	電 気 電 子 工 学	2	1
	情 報 工 学	4	2
商 船 学	商 船 学	13 [13]	13 [13]
家 政 学	家 政 学	1	1
芸 術 学	美 術	5	5
	演 劇	1	1
合 計		315 [14]	273 [13]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数及び取得者数で内数。

機構の窓

○ 会議の開催状況

- ・ 国立大学教育研究評価委員会

第55回 令和元年10月10日（木） 14時00分～16時00分

議事

- 1 達成状況評価及び現況分析における共通方針について
- 2 現況分析の実施体制について
- 3 その他

主要行事日程

○ Schedule

11月

日	行事名	担当課
7日	国立大学法人等評価実務担当者研修会（東海・北陸）	評価企画課
8日	学位審査会（令和元年度第3回）	学位審査課
11日	令和元年度人材育成セミナー「大学等の幹部教職員向け IR セミナー」	評価企画課
11日	タイ ONESQA 来訪	国際課
13日	国立大学法人等評価実務担当者研修会（大学共同利用機関）	評価企画課
15日	国立大学法人等評価実務担当者研修会（中国・四国）	評価企画課
21日	国立大学法人等評価実務担当者研修会（九州）	評価企画課
22日	国立大学法人等評価実務担当者研修会（北海道・東北）	評価企画課

12月

日	行事名	担当課
8日	令和元年度 10 月期学位授与試験（面接）（東京地区）	学位審査課
10日	大学ポートレートステークホルダー・ボード	評価企画課
15日	令和元年度 10 月期学位授与試験（小論文）（東京地区、大阪地区）	学位審査課

1月

日	行事名	担当課
13日～ 2月28日	イタリア CIMEA とのスタッフ交流（派遣）	国際課
22日	大学機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課
24日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第2回）	評価支援課
30日	法科大学院認証評価委員会（第3回）	評価支援課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

